

一関工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	課題研究Ⅰ（フランス語）	
科目基礎情報							
科目番号	0038		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	未来創造工学科（一般科目）		対象学年	3			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	教科書：澤田直ほか『アミカルマン〈プリュス〉』駿河台出版社、2018。仏和辞書：『ル・ディコ』、『プチ・ロワイヤル』、『クラウン』など初学者向けの辞書。						
担当教員	玉田 優花子						
到達目標							
1) 基礎的なフランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）を身につけ、簡単な挨拶や自己表現ができるようになる。 2) 履修者同士で積極的にコミュニケーションを取り、協働して課題を解決できるようになる。 3) フランスの社会・文化についての知見を得、自分自身を客観的な視座から捉えられるようになる。							
【教育目標】A							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
1) 基礎的なフランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）を身につけ、簡単な挨拶や自己表現ができるようになる。	基礎的なフランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）を身につけ、簡単な挨拶や自己表現をすることができる。		基礎的なフランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）を身につけ、簡単な挨拶や自己表現をすることが、一定程度できる。		基礎的なフランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）が身につかず、簡単な挨拶や自己表現をすることが、殆どできない。		
2) 履修者と積極的にコミュニケーションを取り、協働して課題を解決できるようになる。	履修者と積極的にコミュニケーションを取り、協働して課題を解決することができる。		履修者と積極的にコミュニケーションを取り、協働して課題を解決することが、一定程度できる。		履修者と積極的にコミュニケーションを取ることができず、協働して課題を解決することが、殆どできない。		
3) フランスの社会・文化についての知見を得、自分自身を客観的な視座から捉えられるようになる。	フランスの社会・文化についての知見を得、自分自身を客観的な視座から捉えることができる。		フランスの社会・文化についての知見を得、自分自身を客観的な視座から捉えることが、一定程度できる。		フランスの社会・文化についての知見が得られず、自分自身を客観的な視座から捉えることが、殆どできない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語・日本語の体系と比較しながら、実用的な会話文が載った教科書に沿って、フランス語の基礎を学びます。毎回、ペアやグループでの活動も含まれます。また本科目では、季節に合った音楽等を素材として、フランスの社会・文化の様相も適宜紹介します。						
授業の進め方・方法	1コマは演習パートと講義パートによって構成されます。演習パートではペアやグループで課題の答え合わせを行います。講義パートでは新しい文法項目の解説をしながら、会話文の読解を行います。最後にペアやグループで会話文の発音練習をし、授業終了後にはコメントペーパーに感想や質問等を寄せて頂き、次回冒頭に紹介・回答します。						
注意点	仏和辞典の購入は必須です。紙のものを推奨しますが、電子辞書も許容します。第2回授業において辞書を3種類ほど推薦し、それぞれの特徴を紹介するので、第4回授業の事前学習までに、自分に合ったものを必ず購入すること。 【事前学習・事後学習】 事前学習としては、次回扱う例文（会話文）の英訳もしくは邦訳を作成し、音源で発音も確認しておきましょう。事後学習としては、文法を定着させるための課題に取り組みましょう。 【評価方法・評価基準】 試験点：平常点＝6：4 100点法で評価を行います。試験点は計60点で、中間試験・期末試験それぞれを30点満点とします。平常点は計40点で、授業参加姿勢・課題への取り組みを25点分、各回終了後のコメントペーパーの内容を15点分として評価します。総合成績60点以上で単位取得とします。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーションと自己紹介		◆フランス語（ないしは外国語／言葉）を学ぶことの内的な動機と外的な意義について自分なりにまとめ、今の新鮮な気持ちをメモする。 ◆フランス語で「こんにちは、〇〇です。よろしくお願ひします」を言うことができる。		
		2週	辞書の引き方、楽しみ方		◆手元（自宅）の英和辞典や国語辞典と照らし合わせ、普段から辞書をどのくらい「活用」できているか振り返る。 ◆第4回の授業準備までに自分に合った辞書を検討・購入し、あらゆるページを捲って眺めたり読んだりしてみる。		
		3週	綴字と発音		◆イラストを見ながら、日本語になったフランス語を、フランス語的に正しく発音することができる。 ◆国際音声記号にある程度慣れる。 ◆知っているフランス語を辞書で確認し、発音することで、カタカナ読みからの脱却を図れている。		
		4週	第1課の1 講義 パン屋での会話（p. 8）		◆日本語には訳せない呼称について理解できる。 ◆不定冠詞、定冠詞が理解できる。 ◆名詞の性という概念が理解できる。		
		5週	第1課の1 演習 第1課の2 講義 カルティエ・ラタンでの会話（p. 10）		◆敬語とタメ語の別が理解できる。 ◆主語人称代名詞、前置詞と定冠詞の縮約が理解できる。		
		6週	第1課の2 復習 第2課の1 講義 カフェでの会話（p. 16）		◆3種類の疑問文、形容詞の位置と性数一致、人称代名詞の強勢形が理解できる。		

4thQ	7週	第2課の1 演習 第2課の2 講義 ジョンの噂をしている会話 (p. 18)	◆ナタリーの価値観に共感するかどうか、自分の立場を表現できる。 ◆否定文が理解できる。
	8週	中間試験 ブチ講義「フランス語とジェンダー」	◆綴字と発音、ならびに第1～2課の全ての内容が理解できている。 ◆社会的なジェンダー問題と、男女二元論的な（フランスの）フランス語文法における問題について理解し、コメントペーパーで自分の意見を簡単に述べることができる。
	9週	中間試験の返却と解説 第3課の1 講義 プティックでの会話 (p. 24)	◆第1群規則動詞、指示形容詞が理解できる。
	10週	第3課の1 演習 第3課の2 講義 アキとナタリーの会話 (p. 26)	◆フランスの食文化についての理解を深めることができる。 ◆第2群規則動詞、所有形容詞、部分冠詞が理解できる。
	11週	第3課の2 演習 第4課の1 講義 タクシーでの会話 (p. 32)	◆不規則動詞aller、venir、faireの活用が理解できる。 ◆近接未来、近接過去が理解できる。
	12週	第4課の1 演習 第4課の2 講義 モンパルナス駅着までの会話 (p. 34)	◆命令法を理解し、その訳し方を工夫することができる。
	13週	第4課の2 演習 第5課の1 講義 レストランでの会話 (p. 40)	◆フィリップはボケているのか、それともあざといのか、自分なりに会話文のニュアンスが理解できる。 ◆直接目的語（人称代名詞の場合）、比較級が理解できる。
	14週	第5課の1 演習 第5課の2 講義 店員さんとの会話 (p. 42)	◆なぜ二人の折衷案がブルゴーニュワインなのか理解できる。 ◆間接目的語（人称代名詞の場合）、最上級が理解できる。
	15週	期末試験 ブチ講義「アフリカ・カナダのフランス語」	◆第3～5課の全ての内容が理解できている。 ◆アフリカ・カナダのフランス語の様相を理解し、フランスのフランス語と比較して、コメントペーパーで自分の意見を簡単に述べることができる。
	16週	期末試験の返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験点	平常点	合計	
総合評価割合		60	40	100	
評価割合		60	40	100	